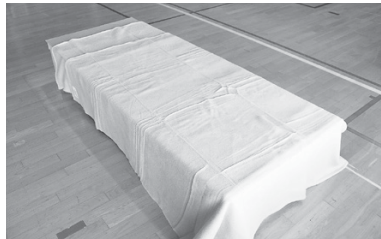


▲避難所の備蓄品（簡易テント）
必要に応じて避難所内でプライバシーを守るために活用します。


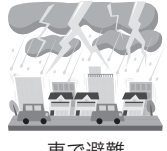



▲避難所の備蓄品（段ボールベッドと毛布）
毛布や布団などの寝具は自宅からご持参ください。

家庭内の備蓄品を持参ください
本町では、避難所用の備蓄品として毛布、簡易テント、段ボールベッド、簡易トイレなどを備蓄しています。
しかし、町の備蓄品は数に限りがあるため、避難者の人数によっては全員に行き渡らないことが想定されます。また、食料品や飲料水、日用品などの物資は、災害発生時の支援協定に基づいて民間企業から提供を受けることとしており、町としての備蓄は行っていません。
災害発生時に必要となる物資は、支援協定先に加え、国や県などの支

援により対応することとしています。が、実際に物資が届くまでには時間がかかることも考えられます。
そのため、特に避難所を開設して間もない時期においては、家庭内で備蓄していた食料品や日用品、寝具などを住民の皆さまがご自身で持参していただくことが必要となりますので、ご協力をお願いします。
避難所以外への避難も検討しましょう
現在は、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、避難所が過度に「密」となる環境をできる限り避けなければなりません。このことから、状況によっては避難所に入れない

避難所以外の避難先の例

避難先の例	避難の仕方
<p>自宅 (在宅・垂直避難)</p> 	<p>被害が少ない、倒壊等の恐れがない場合は自宅や車庫、作業場などを避難先として利用する。</p>
<p>自動車 (車中避難)</p> 	<p>洪水時に浸水の恐れがない一時避難場所（イオン三川店屋上駐車場、庄内空港緑地公園）や、避難所敷地内の駐車場で、自身の車を避難先として利用する。</p>
<p>親戚宅等</p> 	<p>建物の倒壊や洪水時に浸水の恐れがない安全な地域の親戚や友人のお宅に避難する。</p>

くなる場合があります。
確実に避難するためには、「町の指定する避難所以外の場所に避難すること」も事前に検討しておくことが重要です。
左記のいずれの避難先も密を避けられるだけでなく、プライバシーを確保できる、ペットと一緒に行動でき

きるといった利点があります。
また、洪水時における一時避難場所や親戚宅等への避難は、洪水が発生する前に車で移動することで車を水没から守ることができ、災害が起きた後でも家庭内の備蓄品や町の避難所に届いた支援物資を持ち運べるという大きな利点があります。

【特集】いざというときのための



▲天神堂・猪子自主防災会合同防災訓練の様子（9月6日）
訓練等で実際に取るべき行動をイメージしておくことも大切です。

昨年6月、山形県沖を震源とする最大震度6強（本町では震度5弱）を観測する地震が発生し、沿岸部では多数の家屋が被災しました。また今年7月の集中豪雨では、本町を含む県内各所で洪水が発生し、多くの家屋が浸水被害を受けるなど、近年経験したことのない災害が続いています。
いざというときに慌てないために
災害から私たちの命を守るためには、いざという時に慌てないよう日ごろから避難行動の取り方や、避難時に必要となるものを備えておくことが大切です。
ここでは、今、各家庭で確認していただきたい避難の仕方と、日ごろから行っておきたい家庭での備蓄について紹介します。

本町の指定避難所一覧

施設名称
三川中学校（※1）
横山小学校
東郷小学校
押切小学校（※1）
三川町民体育館（※2）
アスレなの花（※2）
三川町社会福祉センター（※2）
みかわ保育園・幼稚園（※2）
なの花ホール（※3）
テオトル

※1…赤川はん濫時、1階使用不可
※2…赤川はん濫時、使用不可
※3…赤川はん濫時、一部使用不可

まずは指定避難所への避難を考えると
本町では災害時の避難所として10カ所の施設を指定しています。
基本的にはお住まいの地区の小学校が避難所となりますが、災害の状況によっては使用できない施設もあり、他の公共施設が指定される場合があります。
町の避難所の開設にあたっては、被害状況や想定される避難者数などを考慮して、開設する避難所をお知らせします。
避難所を開設する際には、防災行政無線（聞き取れなかった場合は☎68-0120、スマートフォンや携帯電話に配信されるエリアメール、



▲7月28日の豪雨で開設した避難所
このときは避難対象者が多くなかったため、三川町社会福祉センターに避難所を開設しました。

いざというときのための「避難」

町ホームページ等でお知らせしますので、町からの情報を正確に受け取り、行動してください。詳しくは5ページでご確認ください。



いざというときのための「家庭内備蓄」 ローリングストックを実践しよう!

今できるのは 備えること

「地震大国」と言われる日本では、平成28年の熊本地震や平成30年の北海道東部胆振地震のような直下型地震は全国どこでも起こり得ると言われています。

また、緑豊かな本町を支える赤川をはじめとする河川は、ひとたび豪雨が発生するとその表情を変え、河川の氾濫による大規模な洪水を起こす可能性も十分にあります。

さらに、大型化する台風によってもたらされる強風による被害など、いつ発生するか分からない災害に対して私たちができることは、「備えること」だけです。今紹介した、避難行動の取り方や家庭内備蓄について日ごろから各家庭で話し合っておくことが大切です。

「自分の身は自分で守る」ことを大原則に、災害が目の前に迫り、いざ避難が必要という時には、地域の皆さまと共に声を掛け合い、助け合いながら行動できるように、準備をお願いします。

○問合せ先
役場総務課 危機管理係

☎ 35-7010

災害時の情報収集はこちらから

災害の恐れがあるとき、災害が発生したときは情報を入手することが重要です。普段から情報の入手方法を確認しておき、いざというときに速やかに行動できるようにしましょう。

○防災行政無線

災害時には随時、放送を流します。電話(☎68-0120)でも放送内容を確認できます。

○スマートフォン・携帯電話のエリアメール

緊急地震速報のほか、町が発表する避難情報や避難所の開設情報をお知らせします。メールを受信するようスマートフォンや携帯電話の設定を確認しておきましょう。

○町ホームページ(☎<https://www.town.mikawa.yamagata.jp/>)

災害時には、トップページに情報を掲載しています。



○テレビ・ラジオ各局の速報

テレビのリモコンの「dボタン」を押して、防災情報をチェックしましょう。停電時はラジオも有効です。

○スマートフォンの防災アプリ

「Yahoo!防災速報」や「NHKニュース・防災アプリ」などがあります。自分が使いやすいものをインストールしておきましょう。最新情報を確認したい場合はアプリの設定で「プッシュ通知」をONにしましょう。

○気象庁ホームページ(☎<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

天気、台風、地震などの総合的な情報はこちらからチェックできます。



水害時はこちらもチェック

○山形県河川・砂防情報システム(☎<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>)

県内を流れる河川の各観測地点の水位をリアルタイムで確認することができます。



○重ねるハザードマップ(☎<https://disaportal.gsi.go.jp/>)

全国各地のハザードマップを洪水、土砂災害、津波などの災害種別ごとに閲覧することができます。



1 備える

普段の買い物で「ちょっと多めに」が備えに

- 食料品 飲料水、パックライス、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子 など
- 日用品 トイレトーパー、ティッシュ、歯ブラシ、カセットコンロ・ガス など



Point

食料品は高価な非常食に限らず、レトルト食品や缶詰などの普段食べ慣れている、ある程度保存のきくものを選び、最低3日分を備蓄しておきましょう。また、日用品としてはマスクや消毒液などの感染症対策グッズも備えておきましょう。

ローリングストック (循環備蓄)の流れ



消費して少なくなったものを
買い足します

3 買い足す

Point

消費しきれなくなるほどの「買いすぎ」には注意しましょう。また、くれぐれも「買い占め」はやめましょう。



古くなったものは
順次消費していきます

2 使う

Point

食料品は「賞味期限」「消費期限」を確認しながら、期限が近いものから順に消費しましょう。

家庭内備蓄を始めましょう

大きな災害が発生した場合、建物や倒壊・破損したり、電気や水道などのライフラインが停止したりします。このような場合、交通の遮断などで物流が滞り、生活に必要な食料や日用品が届かなくなることが予想されます。このことから、あらかじめ必要なものを準備しておくことが大切です。

現在、災害用備蓄の考え方として「ローリングストック(循環備蓄)」が推奨されています。これは「最低3日分」の食料と飲料水を家庭内に備蓄しておき、古くなったものから日々の生活の中で使っていく、使った分を買い足すことで常に新しいものを保存しておく、という考え方で

ローリングストックは、災害時に限らず、普段の生活でも買い物に行くのが面倒な時に活用できたり、コロナ禍のような事態でのマスク不足などにも対処できたりというメリットがあります。普段からできる災害時への備蓄の第一歩として、ローリングストックを実践しながら、万一の事態に備えて食料品や日用品を備蓄しておきましょう。